

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成26年11月30日（日）午後6時～7時35分

会 場 苗間東町会（苗間分館）

天 気 晴れ

参加者 25人



主な意見等

参加者 個人的なことで申し訳ありませんが、高畑市長と身近にお話しをしたことがないので、人柄を知るためにお休みの日にされている趣味を教えてくださいませんか。

市 長 丸一日休める日は、年末年始の休みを含めて年間に約20日間程度です。土日はほぼ休むことが出来ず、平日も外部の会議や行事がある場合は休めないで、内部会議だけの日に調整をしてお休みをいただいています。私だけでなく他の市長も同じ状況だと思います。若い頃にはウインドサーフィンや居合いをやっていましたが、最近では趣味をする時間があまり無いので、本を読んだり自宅で映画を見たりする程度です。

参加者 公園についてですが、合併前は旧大井町役場に除草作業を頻繁に行っていたのですが、最近では除草の頻度が少なくなってきています。桜の木の根回りから雑草が生え、そのままにしておくと背丈くらいになり、視界が不自由になってしまうので、仕方なく私自身が除草を行っている状況です。大量の雑草を運ぶことはとても大変なので、もう少し市役所で頻繁に除草をしてもらえないでしょうか。

市 長 ご指摘のとおり、合併前は旧大井町役場で行う除草の頻度は多かったと思います。大変ご苦勞をお掛けして申し訳ございません。普段の状況が今のご発言のとおりだ

と思いますが、市の担当にも現状を確認させていただき、対応について内部で検討をします。

参加者 埼玉県教職員住宅跡地に公園を造るというお話しを伺っていますが、公園内に駐車場も造られるのでしょうか。

市長 基本的には遠方の方ではなく近隣の方で、徒歩や自転車に来ていただくことを想定していますので、駐車場を造る予定はありません。また、災害時には応急対応ができる場所としての役割を想定しています。

参加者 先程、DVDで拝見をしました旧大井清掃センター跡地の多目的グラウンド建設について伺います。私はスポーツ少年団にサッカーの指導をしていますが、グラウンドは学校開放や荒川総合運動公園を利用しています。予約に際しては、社会人のチームや他のスポーツ団体とのグラウンドの取り合いになっている状況の中、近隣に人工芝の多目的グラウンドが建設されることに大変感謝しています。また、子どもたちの育成にはグラウンドの確保が不可欠であると考えています。そこで、今後、市として更にグラウンド建設等の予定があるのでしょうか、市外でも構いませんので教えてください。

市長 建設費はもちろんのこと維持費に多大な費用がかかるため、更に新規に建設することは難しい状況です。現在、旧県立福岡高校跡地の利活用について検討をしています。建物及び土地は埼玉県が所有しており、本市で活用をする場合は埼玉県から払い下げとなり、建物、土地の購入費用と維持費が掛かります。既存の体育館や武道場が使用出来ればスポーツ施設として活用できますし、校舎の一部に民間企業を誘致することや、福祉施設として活用するといった様々な角度から検討をしています。しかし、いずれにしても建物、土地の購入費と維持費を優先に考えていかなければならない状況です。よって、今回建設します多目的グラウンドについては使用料を少し高めに設定する可能性もあります。今後は、元気健康の好循環を広げるためにスポーツの促進を図って、社会保障費を抑制し、それにより浮いたお金をスポーツ施設に充てることも考えて行きます。

参加者 総合防災訓練について伺いますが、今年度で3回目になると思いますが、当日は分館から出発して東原小学校に到着し、体育館で全体説明を受けてその後に施設内の案内をされるといった内容で、毎回同じです。また、避難所の東原小学校の区域は苗間東町会と三保野町会だと思いますが、当日の集合場所に何人集まるのかも把握出来ていない状況です。他の地域も同じ状況なのでしょうか。

市長 ご指摘いただきありがとうございます。市の説明が不足していて大変申し訳ございません。総合防災訓練には全町会・自治会に参加いただいておりますが、災害が発生した状況に近い形で実施しようといった主旨のものです。よって、実際に災害が発生した場合は、地域の方が一定の場所に集合をして避難所へ行くということはありません。指定されている避難所も決まりごとでは無く、概ねの振り分けです。例えば、今災害が発生した場合は指定されている東原小学校まで行けない可能性もあります。その場合は別の避難所やこの苗間地域であれば富士見市との境ですので、本市と災害協定を結んでいる富士見市の避難所へ避難していただいても大丈夫です。災害はいつ、どこで起きるか分かりませんので、総合防災訓練では災害によって避難経路や避難所がどのような状況になるのかを各々で想定をしてもらうことが大切だと考えています。

参加者 同じく総合防災訓練について伺います。当日に訓練を知らせる旨のメールが送信されて携帯が鳴りましたが、これはふじみ野市民以外の方へも送信されているのでしょうか。三芳町に住んでいる方へも送信されたと伺っています。

市長 エリアメールであるため、エリアに入っている方には居住地問わず送信しています。防災無線のみならず周知を徹底するために送信しているものです。

参加者 苗間地区の市民が一番関心のある、この集会所の前の道路整備についてはどのように考えているのでしょうか。

市長 合併以前の旧大井町、旧上福岡市のそれぞれで抱えていた課題を解決していきたいと考えており、この集会所の目の前にある道路と苗間陸橋から合流する箇所改良については、ここで一カ所地権者との契約が整い前進した状況です。本日は西議員と神木前議員もいらっしゃいますが、当時、神木前議員がこの件について大変力を入れられていたこと及びこの苗間地域の方々の思いを知っています。しかし、莫大な費用が掛かることは事実です。費用面で厳しい状況に直面しています。これは市内全体に言えることです。合併以前、上福岡駅の付近に地下道を造るという計画がありましたが、費用面が厳しく中止になった状況もあります。財政が裕福であった時代であれば実施できたものもあると思います。財政的に厳しいから着手しないという訳ではなく、可能な限り実施していきたいと考えております。莫大な費用が掛かることや埼玉県にご協力をいただかなければならない状況もありますが、精一杯取り組んでいきたいと考えています。

参加者 町会への加入者が減っている状況ですが、どのようにお考えでしょうか。私の娘は北本市に住んでおり、転入の手続きをするとすぐに町会への加入依頼のチラシが手渡されるそうです。そのチラシには、町会長の氏名とご自宅の地図が記載されていて、加入について町会長へ相談をするよう促がしています。

市 長 本市についても、転入の手続きをしますと町会・自治会への加入依頼のチラシを手渡しています。しかし、若い世代の方々の加入率が低い状況です。理由としましては、役を担いたくないといったことがあるようです。

参加者 新規で加入する場合は、まず回覧を回す班に入ることが必要ですが、その班に入ることが難しいようです。既に長年在住している方々で班が構成されてしまっているので、新しい方を受け入れる体制が出来ていないことも、加入率を下げている一つの要因です。また、住宅開発がされる場合は、開発業者より町会長へ事前に班構成について相談があると良いのですが。

市 長 本市ではこれまでも、開発業者より住宅開発の相談があった場合は、その時点で開発地域に該当する町会長をお知らせし、相談をするよう依頼をしています。ただし、大規模開発の場合は入居時期に差が出てきてしまうため、班を組織することが難しい現状もあります。自治組織である町会・自治会は地域で助け合うことが目的であり、基礎自治体のコミュニティを担っています。今後も町会・自治会への加入率を促進するための対応策を検討してきます。

参加者 防災について伺います。各地で様々な災害が発生していますが、本市で震災が発生し水道が断水してしまった場合、市では飲料水を何日分確保しているのか教えてください。

市 長 本市で実際に震災が発生した場合、比較的埋設管が破損する可能性は低いと思われます。さらに、現在、耐震性の強い水道管に替える工事も順次行っています。市内全域が断水となるのは、浄水場が倒壊した場合であると想定されます。正確に何日分を確保しているとはお答えできませんが、非常事態には荒川の県水の購入をすることや、東入間警察署隣の西ノ原中央公園に飲料水用の井戸、市内に設置している数個の耐震性貯水槽、備蓄している「ふじみんの水」を利用しますが、全てを賄える訳ではありません。災害が発生した場合は初動の72時間が大切だと言われていますが、一日分を各ご家庭で、一日分を本市で、一日分を埼玉県で備えるよう目指しています。また、災害協定として遠隔地の栃木県日光市、山梨県甲斐市、長野県飯田市、その他イトーヨーカドーなどと結んでおります。遠隔地からは、給水車の派遣を受けることを想定しています。さらに、イトーヨーカ

ドーでは災害用自動販売機があり、提供をいただく想定もあります。このように様々な手段により飲料水の確保を行っていきます。

参加者 私は今年の4月に仕事を辞めて昼間に自宅に居るようになりました。8月か9月頃に、上空を飛行機やヘリコプターが頻繁に飛行し旋回していることに気がつきました。多い時には3分に一度飛行しています。特に8月、9月は自宅の窓を開けているため騒音が酷い状況です。埼玉県のホームページを確認し相談をしたところ、入間基地の練習飛行ではないかと言われました。10万人都市の上空をこれだけ頻繁に飛行をしてよいのでしょうか、万が一事故があった場合は大変な事態が想定されます。この状況をどのようにお考えでしょうか。

市長 ご指摘のとおり、私自身も日によっては頻繁に飛行している状況を拝見しています。飛行は天候状況に大きく左右されるため、例えば入間基地に侵入しようとしている飛行機は天候により、進入する方角が異なったり、滑走路への進入が出来なければ旋回して待機したりすることも想定されます。本市はその入間基地へ進入する機体の旋回地域に入っていると思います。それを、本市の上空だけを飛行しないように要望するのは難しいと思います。しかし、これまでも、管轄の北関東防衛局へ様々な要望活動を行ってきていますので、改めて訓練で飛行している航路の確認や、本市の現状を伝えることを行っていきたいと思っています。